

R18
.....
成人向

CHAKUNIN
MUSASHI!!

着任蔵



KAMIYOROZU PRESENTS



提督、
本日付で新しい艦娘
が我が艦隊に配属
されるのですが

その艦娘が……

あははは
いちまんじやく♪



ウチの艦隊に着任？
一体誰なんですか？

待たせたな!!!



司令官つれて
いかれちゃった



まあいい
早速出撃しよう
じゃないか

ズルズル

提督!?



貴様が
この提督か？
随分丸っこい
奴だな

敵艦発見!!



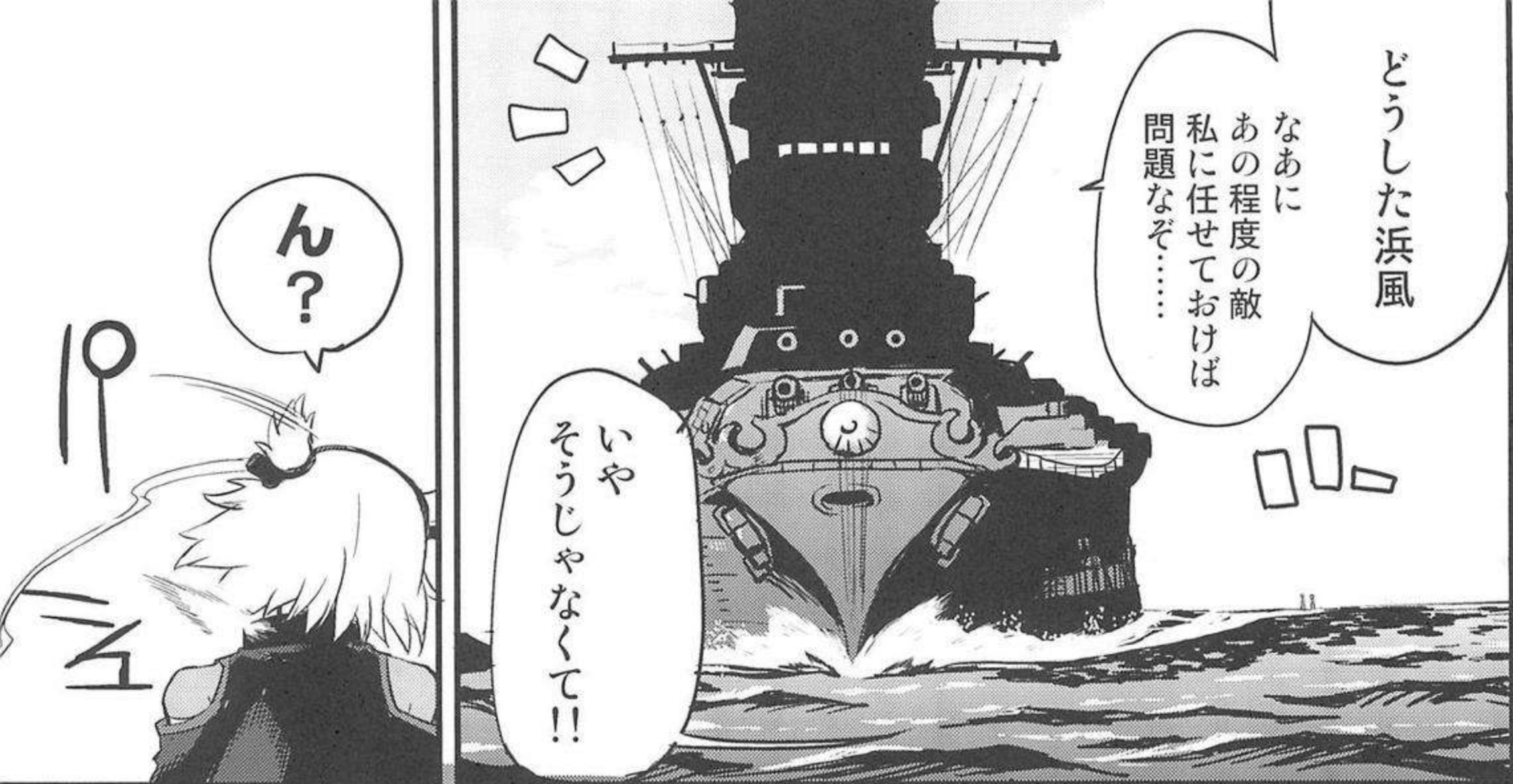
さあ
戦艦武蔵の
出撃だ!!

存分にその采配を
奮ってくれ提督!!

ちよつと待って
武蔵!!

武蔵さん
かちといい!!





どうした浜風

なあに
あの程度の敵
私に任せておけば
問題なぞ……

いや
そうじゃなくて!!

ん?



誰だ
勝手にカタパルト
使ったやつは!!

それ
提督なんだ!!

はあ!?

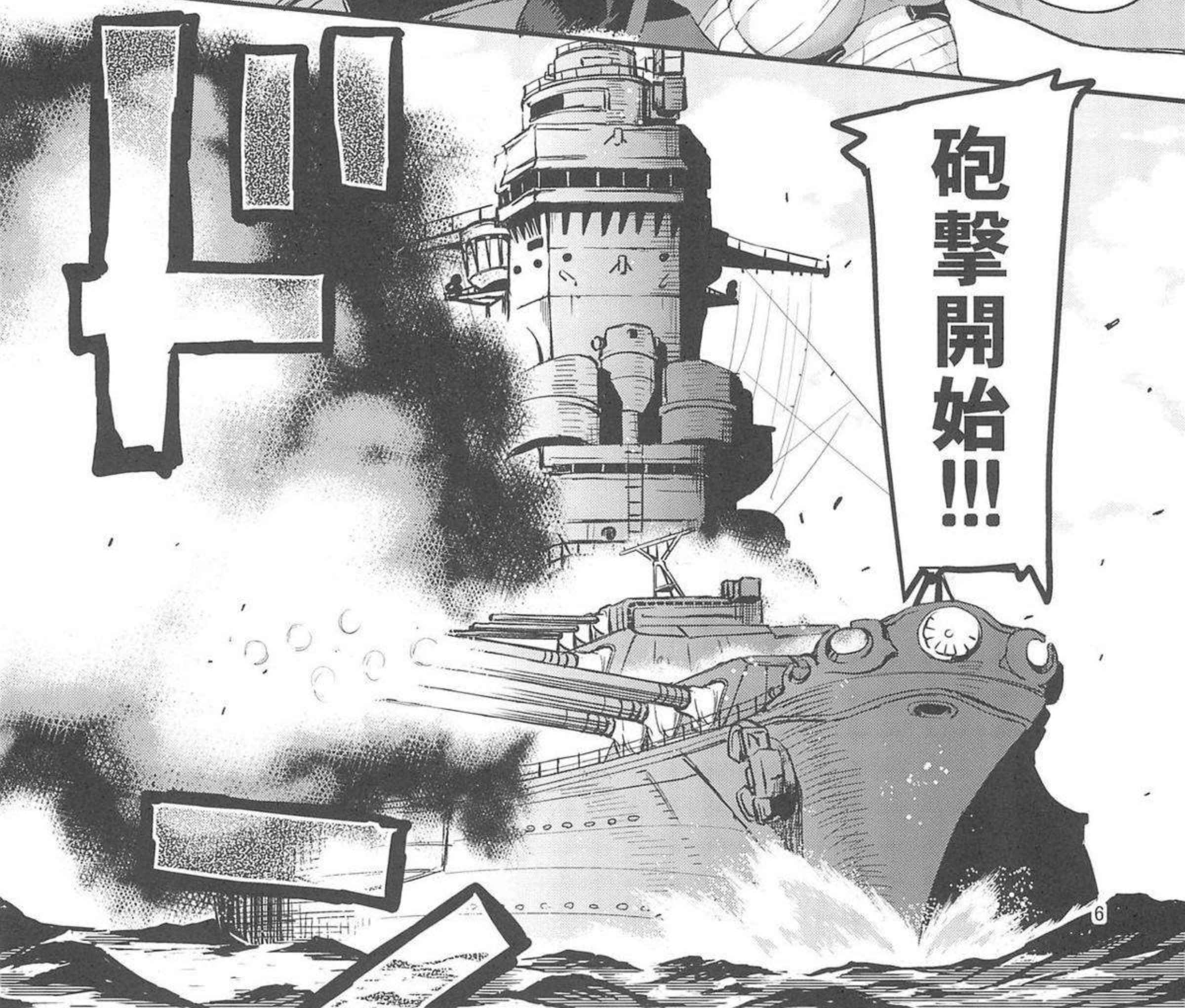


なんのつもりだ
提督!!



ならば

ええい
敵の注意が提督に
逸れているのを
好機とみる!!



砲撃開始!!!



敵艦撃破だ!!

まあ、私の主砲ならば
当然の結果だな

提督も自ら
囿になるとはなかなか
の益荒男ぶり

その心意気は
気に入ったぞ
提督よ!!

だが貴様には
貴様の役割がある
今後は……



ん？

いたたく
まったく
ひどい目に
あった



なんなんだ
ここの提督は

自ら出撃なぞ提督の
やる事ではなからう

これが戦艦

私達が戦い傷つく様を
黙ってみていられない
お優しい方なんだ

あまり責めないで
あげて欲しい

聞いているのか
提督よ

気持ち解らん
でもないが、
それで私の頭に
ぶつかってちゃ
世話ないぞ
幸い爆発しな
かったから
いいような
ものの



次からは
衝撃波の及ばない
範囲を飛びますので

戻ってこいよか?



すみません
主砲の衝撃波が
あんなに凄いと
思わず

操縦を誤って
しまいました



だから
何故そうなるんだ

うわあ!!!

キヤー!!!



貴様は提督だろう
だったら座して
艦隊の指揮を
執らんか!!

我々を差し置いて
敵の目前に
でしゃばるなぞ

指揮官のやる事
ではなからう

わかっているのか
提督よ



ワキ
ワキ



あ…あの
わかりましたから
前隠して
もらえませんか!?

ムハ



ナニをおっ勃て
とるんだ貴様は!!

提督!!



…人が真面目な
話をしている時に



ほう
男根はなかなか
猛々しいではないか

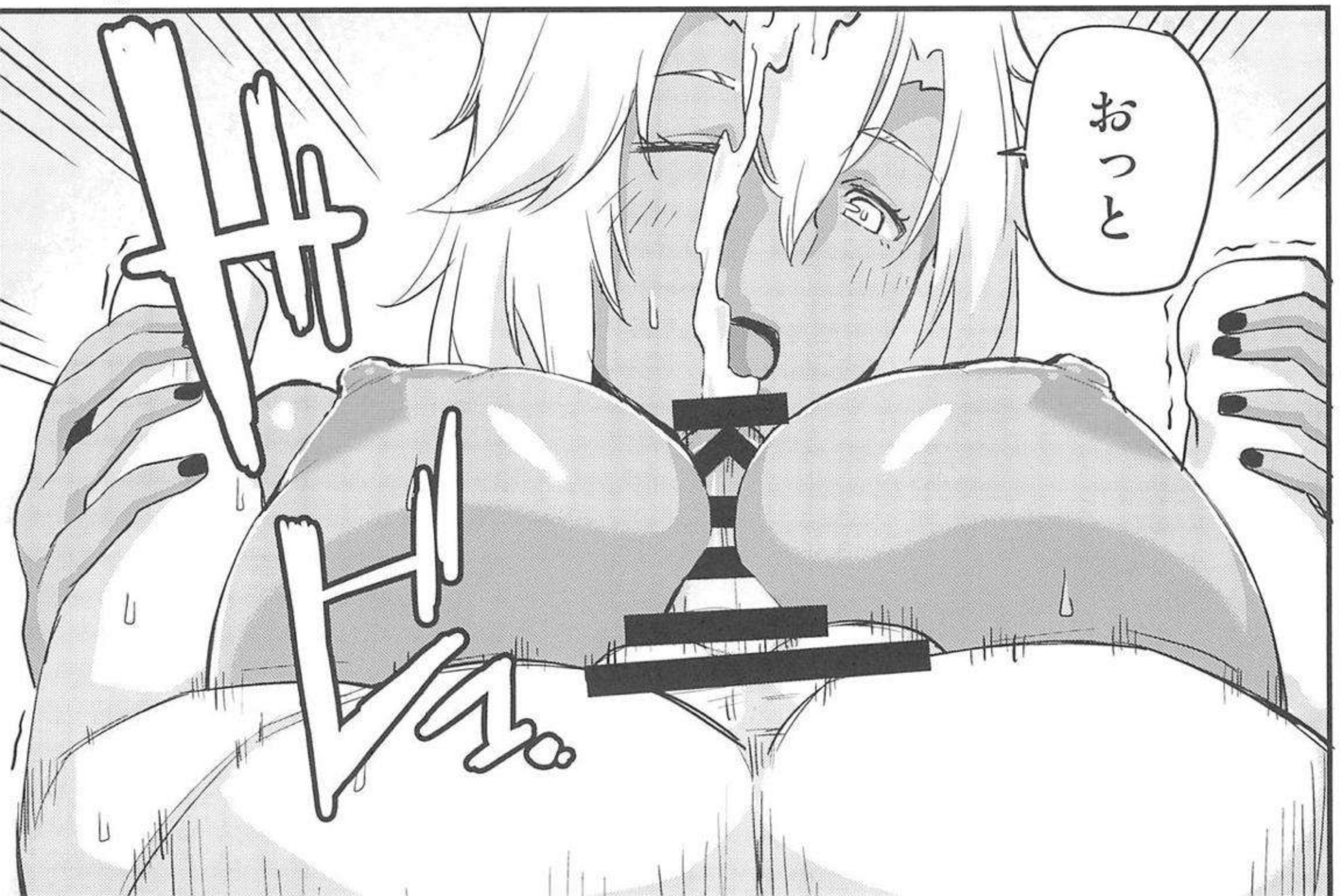
うーん...

く...苦しむ

ふむ
ならすぐ
楽にしてやろう

おれは

ハハハハハハハハハハ





一度では
収まらんか

遅しいのは
結構な事だが



チャッ

ジュレジュレ

ズ
ズ
ズ



しよ
うの
ない
提督
だ

ニチャ

え...え!
ちよつ...待って
下さい

何やって...

さつき
言ったでは
ないか。
射精させて
やると



うわああ
ああああ!!!



んっ…貴様は
動かんで
構わ…んぞ

全部私に
任せて…おけ

んっ

んっ
んっ

良い機会だ

この際
このタマに
溜まっている
ものを

ハリュ
ハリュ

しかし一度
出したというのに
それを微塵も
感じさせぬ
猛々しさよ

随分溜まって
いたのでは
ないか？

全部出して
しまえ!!

んっ
んっ



おっぱい

ん

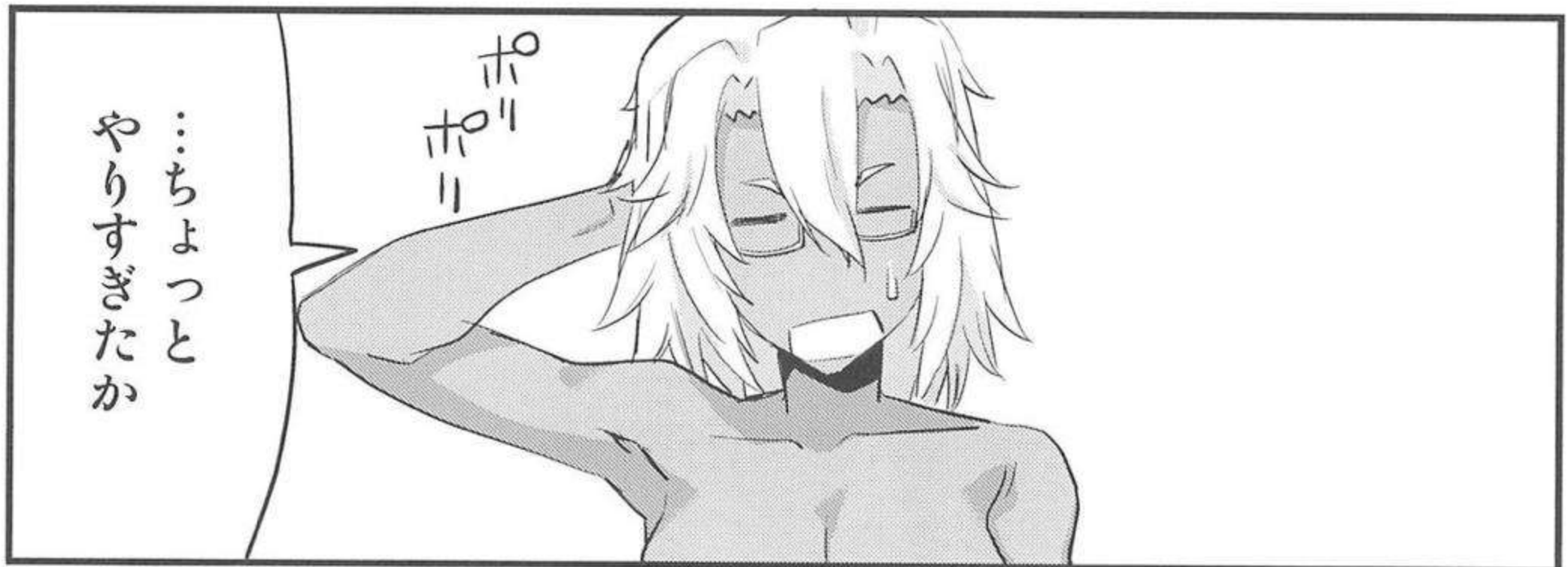
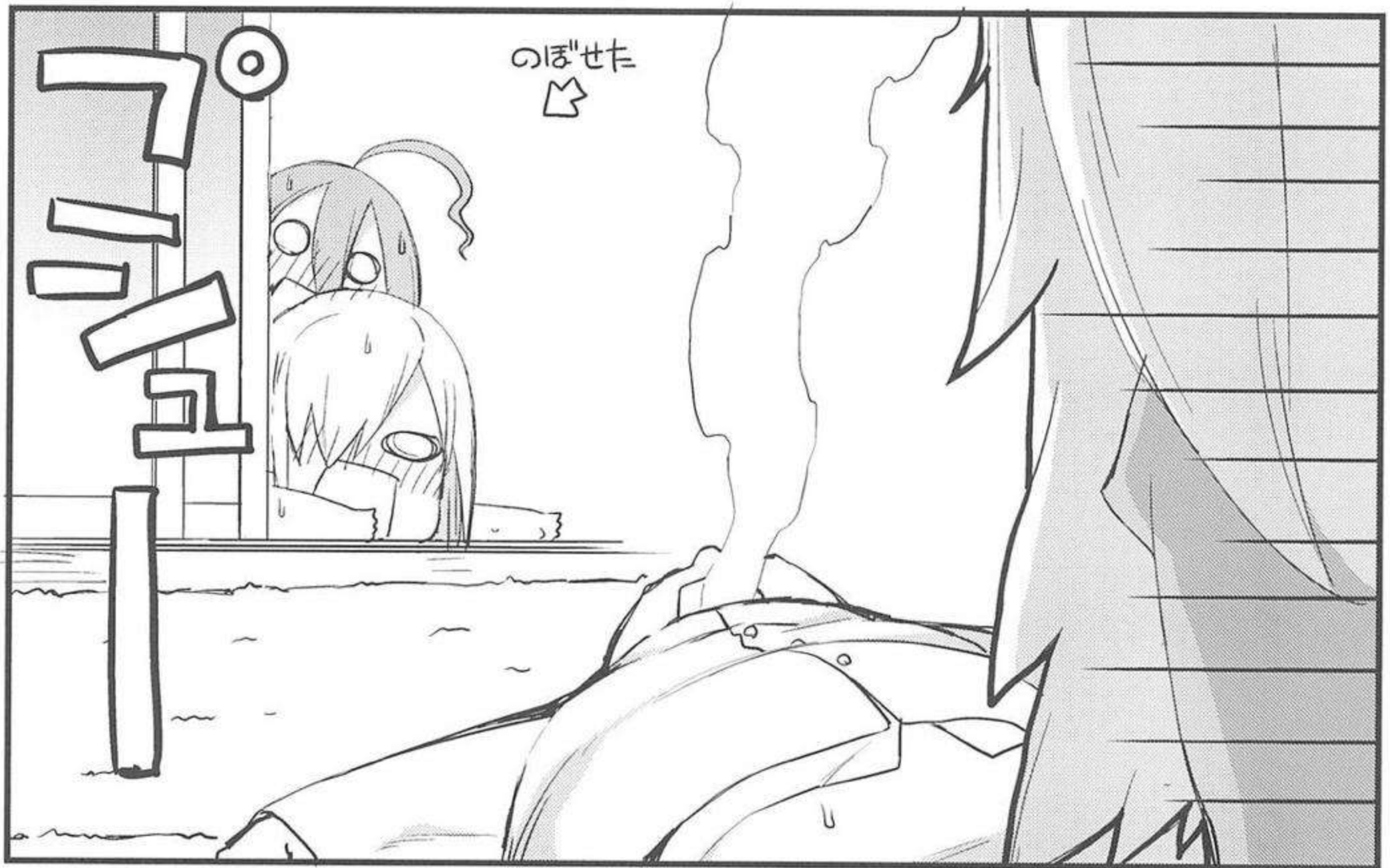
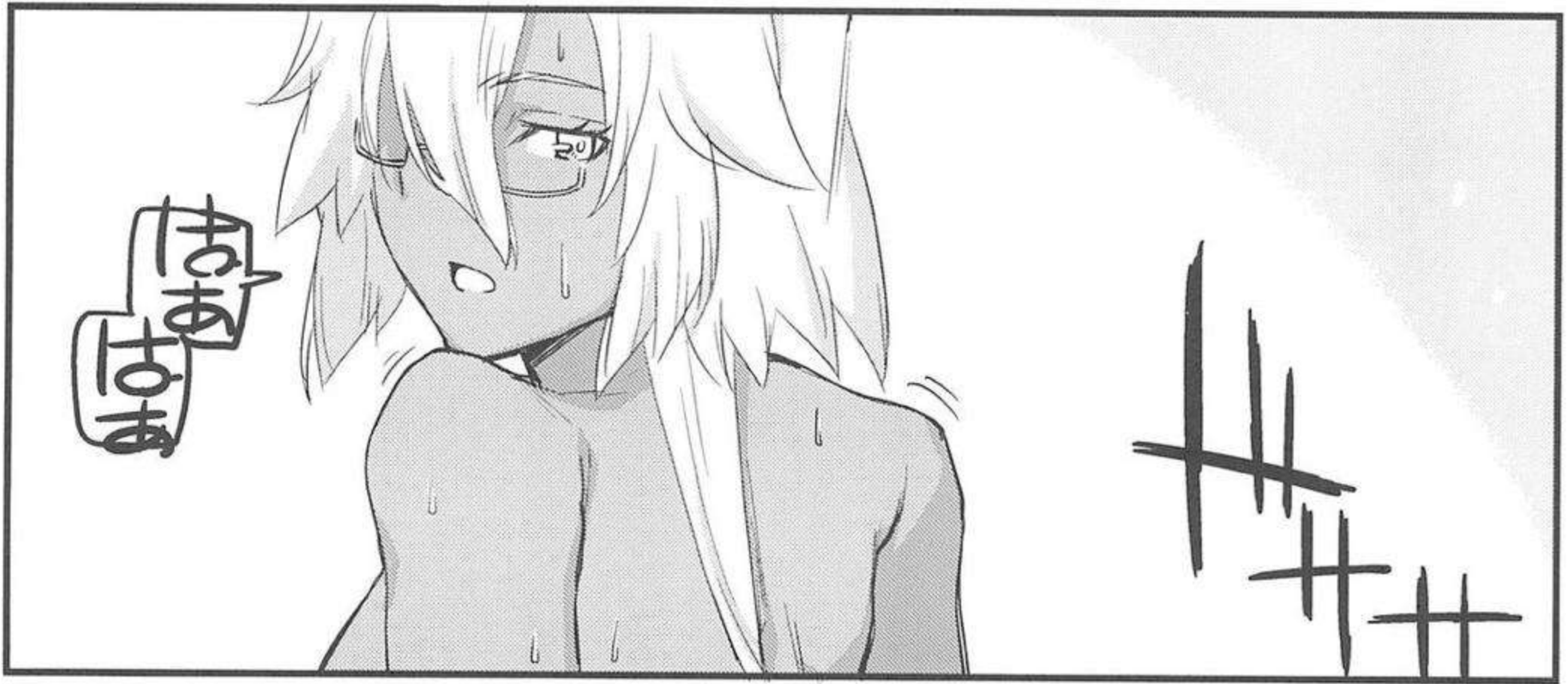
ん

ん

ん

ん

ん



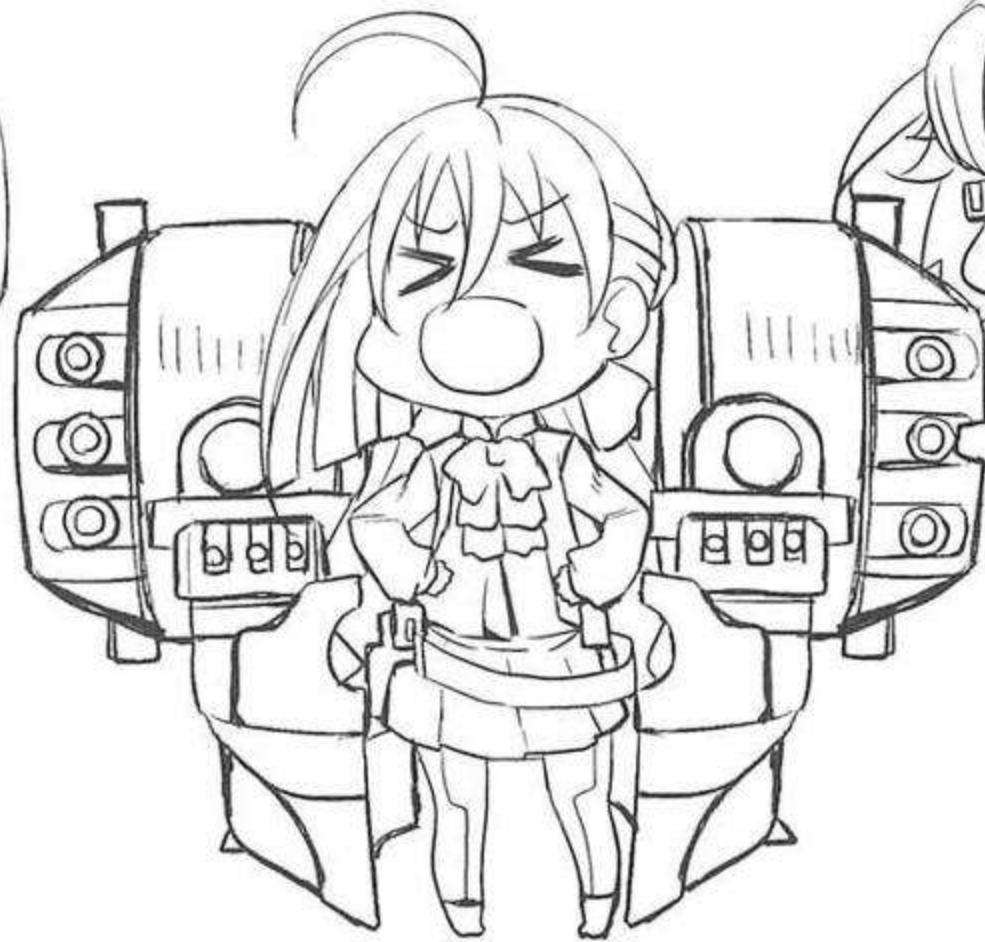
CHAKUNIN
MUSASHI!!

着 任 蔵

!!

〇 〇 〇
〇 〇 〇

〇 〇 〇





提督？
お疲れのようですね

私が全部して
差し上げますので
提督は楽にしてい
て下さい

遠慮せず
いつでも出して
いいですからね

いゅほほ

いゅほほ

せませま

あんなに
出したのに
まだ大きいまま
ですね

どうぞ
私で気持ちよく
なって下さい

ああっ…提督!!
提督!!

わ…私は
ちゃんと気持ちいい
ですか?

あ
あ

私は…もお
提督が気持ちよくて
ダメです!!
ダメ…ああっ!!

ズ
ズ

ズ
ズ

わーお!!
司令官の
おつきいお腹
すきー

ポヨーン

おお、何これ!!
これが司令官の
ちんこ!?

これ
ぴゅっぴゅ
させたら
戦艦になれる
んでしょ!?

たのませ〜!!

しゅ
しゅ

えー
でも武蔵さんも
させてたし
やっぱり私も
できないと!!

私へたくそですね
武蔵さんみたいに
できなかつたわ

じゃ：じゃあ司令官
こっち！
こっちでびゅっびゅ
してね！！

の
干

ふやあああ！！
にやにこし
しゅごいいい

しれえがんの
デカチンコ
しゅごい
よおおお！！

おかしく
なつちやう
うううう！！

干
干
干

この前の
お仕置き？

まあ、私もあれは
やりすぎたと反省
しているから
これもやむなしか

し…尻を出せ？
何をするつもりだ？

こちらに入れたら
簡単に解けそうなんだが

ひやあ!!

尻叩きなど
子供の仕置きだ

こんな屈辱
辛抱できん

拷問でも構わんから
もっと別の方法で

おおおお
こんな仕置き
しらん!!


しらんぞ
おおお!!!

ズ
ズ
ズ
ズ

貴様の精力は
底なしだな

3人ぐらい
まとめて
相手しても
貴様なら
容易かろう





【あとがき】


この本を手にとって頂き、ありがとうございます。上向だいです。今回は個人では初めての成人向けの本になりましたが、ドラマとエロのさじ加減わからず、随分変則的な作りになってしまいました。次回また成人向けで作るならドラマ中にエロを沢山盛り込めるような作品にできたらと思います。次回やるなら浜風編かな？というわけで、残りのページは浜風と提督の出会いの話を少しだけ。エロはここまでです。今度は関係性に感じるエロスも盛り込みたいですね。それでは。

【おくづけ】

- 発行・発行者:上万・上向だい
- 発行日:2015.12.30
- 連絡先:dai_uemukai@live.jp
- pixiv ID=83496
- 印刷:サンライズ



※無断転写禁止
複製、データ化禁止



私が提督と
初めてお会いした
時の印象は

控えめに言っても
あまり良くは
なかった



その戦に赴く人間に
似つかわしくない
体系もさることながら

この艦隊の
運営方針が理解
しがたいものだった



戦闘海域への出撃任務が
ほぼ無いという事だ

そもそも私が
着任するまでは
配属されていた
艦は清霜のみで

およそ隊とよべる
代物ではなく

この隊の存在理由にも
疑問を抱いていた

このままで
いいのかと
問いたただせば

いやあ
やっぱり戦闘って
怖いじゃないですか

怪我すると痛いですし
そういうの嫌ですよね？

艦娘として
敵を撃滅する事を
望む私には

わが身可愛さに
敵との戦いを避ける
提督の答えには
賛同しかねるもの
だった

…しかし
その認識は
間違っていた

ある日
この鎮守府近海に
敵艦の接近が
報告された

あまりにも遅い
発見ゆえ、私達で
対処せざるを得ない
状況だった

遂に戦闘を行えると
意気込む私だったが

君達はここで
待機です

これは
命令です

この件に関しては
僕が対処しますので

提督の決定に私は
当然意見したが
提督は頑として
譲らなかった

そして…

あの飛行機に
乗ってるの
司令官じゃない？

どこ行くんだろう

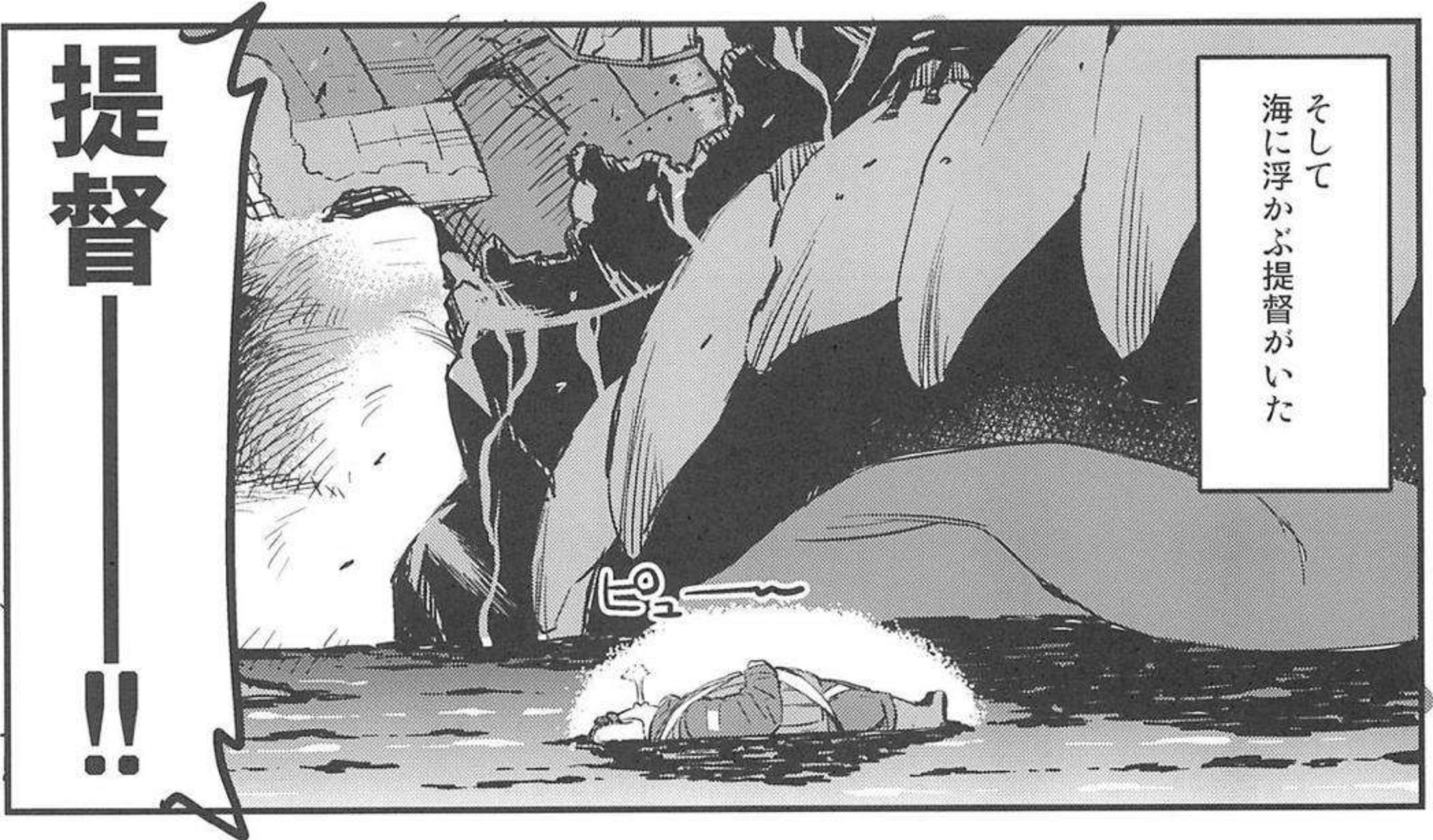
まさか
対処ってそういう事!?

事もあるうに
提督は単機で
敵を撃退せんと
出撃したのだ



提督を追い
私達は戦闘海域
へ向かった

そしてそこには
航空機と
深海棲艦の残骸



そして
海に浮かぶ提督がいた

提督

!!



だって怪我したら
痛いですし
そういうの嫌ですよね？

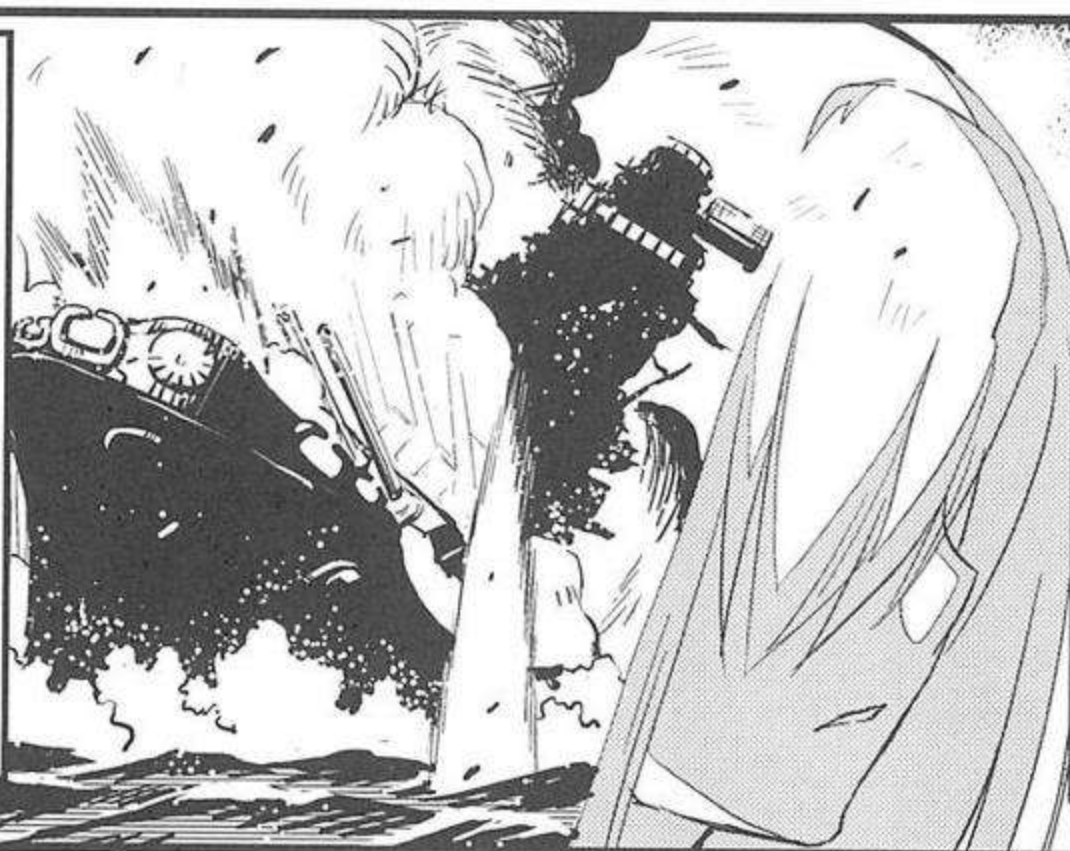


こらこら
待機って命令
したじゃないですか

そんな事
言ってる場合じゃ!!
…何でこんな
無茶な事を

とたん、私の脳裏に
焼き付いた、護れなかった
過去の記憶がよぎった

その時私は気付いた



提督が戦闘を避けるのは
私達が艦であるにも関わらず
傷つく事を恐れているからだ

それに気付いたとき私は
この提督の下への配属は
私にとって意味あるもの
だったと思うようになった

——以来、私は戦場に拘る事を辞めた

そして

あの一
なんですか？
この書類の山

今日の
事務作業です

今後はこの艦隊と
この無鉄砲で優しい
提督を護っていいこう

そう、私は
心に誓った

ええ!?
こんなに沢山
ですか!?

大丈夫です
私が今日から

秘書艦として
サポートしますから
頑張りましょう

よろしく
お願いします
提督

今度こそ
私は護り抜くから

